総合評価シート

評価対象年度 : 令和6年度

施設所管課 : 施設課

1. 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 日本キングス・ガーデン
所在地	茨城県常総市大生郷町1818-2
代表者	理事長 張 博一
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
業務内容	常総広域障害者支援施設の利用及び施設の維持管理に関すること。

2. 施設の概要

施設名	常総広域障がい者支援施設	該当年度中の開所日数	365日
所在地	茨城県常総市大生郷町1880	1日における開所時間	24時間
設置目的	構成市（常総市、取手市、守谷市、つくばみらい市）障がいの生活介護及び入所支援を行うことを目的とする。		
主な設備	入居棟（居室60室・浴室・指導室・倉庫・トイレ等）、入居共用棟（医務看護室・配膳室・機械浴室・洗濯室等）、自立訓練室（事務室・応接室・創作活動室・機能回復訓練室・多目的活動室）交流ホール（キッチン等）		

3. 施設の利用状況

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	傾向と増減理由
入所者数 (年度末時点)	55人	56人	56人	56人	満床のため変動なし。
短期入所者数 (延べ人数)	4人	249人	340人	204人	長期利用の方がおられず、土日中心の利用でリピーターは3名。上半期は感染症の影響でサービスを中止した期間が長く、利用者数に影響が出た。
日中活動利用者数 (延べ人数)	16,862人	16,467人	16,492人	16,478人	入居者+在宅利用者。 合計利用者数に大きな変動なし。
日中一時支援 利用者数 (延べ人数)	0人	0人	0人	0人	希望者不在のため休止中。

4. 収支状況（管理運営業務）

		予算額	決算額	増減額	増減の主な理由	
収入合計（A）		362,875,000	344,689,261	-18,185,739		
項目	事業活動	自立支援給付金	306,314,000	287,456,238	-18,857,762	長期入院、短期中止が発生したため
		利用者負担金	33,424,000	34,154,166	730,166	
		受取利息配当金	128,000	127,549	-451	
		その他収入	157,000	408,728	251,728	自主事業収入は含まない
	施設整備等収入	0	0	0		
	その他の活動による収入	22,852,000	22,542,580	-309,420	公用車購入のため預金から下ろしています。	
支出合計（B）		367,638,000	354,429,953	-13,208,047		
項目	事業活動	人件費	237,280,000	233,520,777	-3,759,223	休職退職者が発生したため
		事業費	82,788,000	83,022,455	234,455	
		事務費	33,270,000	33,483,071	213,071	自主事業支出は含まない
	施設整備等支出	13,000,000	3,044,910	-9,955,090	スチーム除草機等固定資産取得の支出。車両取得を想定した予算だが、取得が令和7年度に遅れたため。	
	その他の活動による支出	1,300,000	1,358,740	58,740	退職給付費のための積み立てを行いました。	
	予備費	0	0	0		
収支（A）－（B）		-4,763,000	-9,740,692	-4,977,692		

【収支状況（管理運営業務）に関して指定管理者のコメント】

単年度収支状況は減算ですが、次年度以降の重度加算申請による改善を見込んでいます。

4. 収支状況（自主事業）

		予算額	決算額	増減額	増減の主な理由
収入合計（A）		350,000	308,023	-41,977	
項目	自主事業収入	350,000	308,023	-41,977	その他雑収入（自販機手数料）
	その他				
支出合計（B）		60,000	56,636	-3,364	
項目	自販機電気代	60,000	56,636	-3,364	
収支（A）－（B）		290,000	251,387	-38,613	

【収支状況（自主事業）に関して指定管理者のコメント】

自動販売機のニーズは高く、例年通り継続しています。

5.項目別評価

1. 施設の管理運営		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 基本方針の確立	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立され、業務従事者は理解していたか。	B			B	2	
(2) 人員体制	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
施設の管理運営に必要な人員が過不足なく配置されていたか。	B			B	2	
地元雇用の配慮はされていたか。						
業務の遂行に必要な知識、技能の習得、利用者サービス向上のための研修等は実施したか。						
(3) 連絡体制	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
協定書等に従い、各種書類等は遅延なく提出していたか。	B			B	2	
(4) 利用者数	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
事業計画書に掲げた目標を達成したか。	B			B	2	
(5) 記録管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
利用申請書、報告書その他書類を適切に作成・保管していたか。	B			B	2	
(6) 情報公開・個人情報保護	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
情報公開・個人情報保護の取り扱い、協定書に基づき適正に行っていたか。	B			B	2	
(7) 第三者委託	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
第三者への委託が適切な手続きで行われ、第三者が再委任することはなかったか。	B			B	2	
(8) 緊急時の対応	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
事故、災害時等の緊急時対応マニュアルの整備や対応体制が確立されていたか。	B			B	2	
指定管理者 コメント	書類の管理提出を適切に行いました。また、強度行動障害支援者の研修受講を奨励し、9名が修了しました。					
施設所管課 コメント	防災・防犯の各マニュアル及び緊急連絡体制が整備され、また、医療系専門の緊急連絡体制も構築し、緊急時における対応に万全を期した管理運営を行っていました。					

5.項目別評価

2. サービス向上の取組み		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 利用者対応	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
利用許可、予約等を公平かつ適切に行っていたか。	B			B	2	
マニュアルが整備され、利用者への接遇は適切であったか。						
(2) 人権の尊重	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
利用者の人権を尊重し、関する研修等を職員に対し実施したか。	B			B	2	
(3) 利用者家族等への情報提供	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
利用者の家族等に対し、利用状況等の発信を適時行ったか。	B			B	2	
(4) 苦情等への対応	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
苦情や要望等の対応を、迅速かつ適切に行ったか。	B			B	2	
(5) 利用者調査	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
アンケート等の実施により、利用者満足度やニーズを把握し、サービス向上に活用していたか。	B			B	2	
(6) 連携業務	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
各関係機関及び利用者家族との連携は取れているか。	A	医療機関との連携で迅速な医療対応を行っています。各市と必要な手続きの実施、ご家族との連携で日常の課題解決に努めています。		A	3	
(7) 地域との連携	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
地域に根差した施設運営となるような取組みを行ったか。	B			B	2	
(8) 自主事業	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
事業計画書に掲げた自主事業を実施できたか。	B			B	2	
利用者ニーズを踏まえた自主事業を実施したか。						
指定管理者 コメント	利用者及びご家族のニーズが多かった外出・外泊を土日を中心に再開し、感染対策との両立を図りました。					
施設所管課 コメント	医療機関との連携を構築することで、利用者の疾病時に迅速且つ適切な対応をされており、施設を利用される皆様が安心できる管理運営でありました。					

5.項目別評価

3. 施設の維持管理		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 施設の点検・整備等	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
法令、業務基準等に従い、施設や設備の点検整備、保守管理等を行っていたか。	B			B	2	
(2) 施設の修繕	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
協定書等に従い、適切に修繕が実施されていたか。	B			B	2	
(3) 清掃・衛生管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
業務基準等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれていたか。	B			B	2	
(4) 植栽等の管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
業務基準等に従い、樹木・植栽等の美観が保たれていたか。	B			B	2	
利用者の安全に配慮した植栽管理はされていたか。						
(5) 備品の管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
備品を適切に管理し、また、備品台帳を整理していたか。	B			B	2	
年に1回以上、台帳と現物の照合を行ったか。						
(6) 環境への配慮	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
環境に配慮した製品の購入や、エネルギー使用量・廃棄物の削減に向けた取組みをしていたか。	B			B	2	
指定管理者 コメント	トイレ、内装などを中心に入居者が過ごしやすい環境整備を積極的に行いました。					
施設所管課 コメント	各修繕を適時実施し、施設の保全及び利便性の維持に努めていました。また、館内照明器具のLED更新も進められており、ランニングコスト削減・環境への配慮が図られておりました。					

5.項目別評価

4. 収支状況		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 経理事務		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
指定管理業務に関する経費と自主事業に関する経費を区別して帳簿等を備え管理していたか。		B		B	2	
料金徴収（食費、光熱水費等の個人負担分）は適切に処理したか。						
(2) 予算執行		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
サービスの維持・向上に留意した上で、効果的・効率的な予算執行が図られたか。		B		B	2	
指定管理者 コメント	適切に経理を行いました。					
施設所管課 コメント	適正な経理事務であったと判断しました。					

6. 総合評価

合計評点数	49 /72点	
総合評価	B	適正である
<p>【施設所管課からの講評】</p> <p>前年度に引き続き令和6年度においても、研修会及び勉強会等に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めていました。また、個別支援計画の作成・ユニット担当者ミーティング・利用者の嗜好調査等を実施し、利用者のニーズに合った良質な福祉サービスの提供をされていました。今後も利用者の皆様が満足し且つ安心して利用できる施設の運営管理をお願いします。</p>		